

念ずれば花開く

私が教職を退いてから、書道を愛好する多くの先生方と協力して、太田市周辺の広い地域の子ども達、高校生から小学一年生までの児童・生徒さんを対象とした「太田広域新春席書大会」を開催してきました。

この大会も年を重ねて本年で第十七回を迎えましたが、発足当初は太田市の運動公園内にある「太田市武道館」をお借りして開催してきました。参加される児童・生徒さんが多くなり、「武道館」では収容できなくなつて、「太田市民体育館」に移りました。その後、「市民体育館」の設備改修工事で、「新田総合体育館」(エアリスへ)と、会場は移動しましたが、毎年、新春の一月五日午前の開催で進めてきました。

新春の寒さの厳しい、それもお正月の五日朝から

毎年大会に臨んでいました。今回その念願の市長賞を手にする事が出来、うれしさと同時に大きな自信も手に入ることが出来ました。と、話して頂れました。

《念ずれば花開く》という言葉がありますが、

三月二十日(火)午前十時(寺)

総供養会法要へお出かけください

本年も、三月二十日(火)春分の日 午前十時より、常楽寺本堂で、「常楽寺護持会総会と「ご先祖総供養会」を開催いたします。

ごなたにとつても、「両親が居られ、又その両親にも、また、両親が居られます。十代前までさかのぼってみると、なんと二千二十四人の親がごい脈々と命をしないて来いへ来て、今、私達がこの世に居らわたるのです。

今日の科学では、一人ひとりの遺伝子(DNA)が

の開催ですが、毎年二百人を越える児童・生徒さん方とご父兄の皆さんが参加されて、開催して来ました。

広い体育館の中、書道用具を揃えて、フロアーいっぱい広がつて、作品を書き上げる様子は、まさに壮観ですが、作品を書く児童・生徒さん達は、着ている上着を脱ぎすてて、作品作りに挑む姿には感動させられます。

作品展は、先日一月十八日と十九日に「太田市生涯学習センター展示ギャラリー」で多くの市民の方々に見ていただきましたが、十九日に、太田市議会議長さん、教育長さん方の参加をいただいて開かれた授賞式で、最高賞の「市長賞」を受賞した、強戸小学校の松村亜美さんが、受賞者を代表した「謝辞」の中で、「この大会には、小学二年から参加してきました。いつか市長賞を取りたい」という気持ちで

回事でも目標や希望・願いを持って、それに向かって努力を積み重ねていけば、少しでも目標や希望や願いに近づいていけるのだと思います。

常楽寺も、「花の寺」として姿を変え、境内も年々に落ち着いた風情になってきました。

子々孫々にまご伝えられていることが解明がされて来ました。その数え切れないご先祖が、今日の私達の命を支え、私たちの暮らしが有るのです。

私たちは、決してご先祖に対する感謝と、追福供養の念を忘れてはなりません。

寺の役員さんの居られる地域では、役員さんが護持会々費として五千円をいただきますに伺います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。寺の役員さんのいらついでない地域には、郵便振替用紙を同封いたしますので、お手数でも送金されますか、寺の方へ護持会費を納めていただければ幸いです。

